

VI 基本目標3 調布のまちの魅力の発信により、交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進し、まちを発展

基本目標3が目指す方向

調布のまちの魅力を高め、その魅力を市内外に積極的に発信することにより、交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進し、まちの発展に繋がります。

地方創生のキーワード【まちの魅力・交流人口・定住化促進】【産業・観光振興】

| 基本目標3における主な数値目標 | 基準値 (平成27年度) | 目標値 (平成31年度) |
|-------------------------|-----------------|-----------------|
| 住みやすいと感じている市民の割合 | 89.8% | 95.0%以上 |
| 中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合 | 53.1% | 70.0%以上 |
| 市内に優れた景観があると感じている市民の割合 | 89.8% | 90.0% |
| 深大寺地域など観光振興に満足している市民の割合 | 70.2% | 80.0%以上 |

【基本目標3の体系】

| 調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系 | | 調布市基本計画の 施策 |
|-----------------------------------|------------------------------|-----------------------|
| 講ずべき施策に関する 基本的方向 | 施策（調布市基本計画の基本的取組） | |
| F 21世紀の調布の街の骨格をつくる 【重点プロジェクト3】 | ① 魅力的な中心市街地の形成(22-1) | 施策22 地域特性を活かした都市空間の形成 |
| | ② 駅周辺におけるまちづくり(22-2) | |
| | ③ 円滑に移動できる道路網の整備(24-1) | 施策24 安全で快適なみちづくり |
| | ④ 公共交通ネットワークの形成(25-1) | 施策25 総合的な交通環境の整備 |
| | ⑤ 自転車関連施策の推進(25-3) | |
| G まちの活力を高める 【重点プロジェクト3】 | ① にぎわいを創出する商店街等の支援(16-1) | 施策16 活力ある産業の推進 |
| | ② バイ調布運動（市内消費）の促進(16-2) | |
| | ③ 市内事業所・事業者への支援(16-3) | |
| | ④ 新たな創業への支援(16-4) | |
| | ⑤ 「映画のまち調布」の推進(17-1) | 施策17 魅力ある観光の振興 |
| | ⑥ 地域資源を活用したにぎわいの創出(17-2) | |
| | ⑦ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進(14-2) | 施策14 スポーツの振興 |
| | ⑧ いきいきとした農業経営(18-1) | 施策18 都市農業の推進 |
| H オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進 | ① オリンピックレガシー創出に向けた取組 | 施策14 スポーツの振興など |
| I 豊かな水と緑を大切に守り生かす 【重点プロジェクト4】 | ① 水と緑の保全(27-1) | 施策27 水と緑による快適空間づくり |
| | ② 水と緑の創出(27-2) | |
| | ③ 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進(27-3) | |
| J 良好な景観を創出する 【重点プロジェクト4】 | ① 景観まちづくりの推進(21-2) | 施策21 良好な市街地の形成 |
| | ② 深大寺地区におけるまちづくり(22-3) | 施策22 地域特性を活かした都市空間の形成 |

調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略のポイント※【基本目標3】

- オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップを契機としたまちづくり
 - ・スポーツ分野をはじめとする様々な取組を関係団体・近隣市と連携して展開
- 京王線地下化に連動する21世紀の調布の街の骨格づくりと賑わいの創出
 - ・調布駅前周辺の複合商業施設の民間開発との連携
 - ・シネマコンプレックス開業を契機とした「映画のまち調布」の取組の展開
- 産学官連携の推進
 - ・電気通信大学アライアンスセンター（先端共同研究施設）との連携
 - ・商工会と連携し、金融機関など民間ノウハウを活用した中小企業等の支援

※総合戦略に位置付けた新たな要素や、より推進すべき取組

講すべき施策に関する基本的方向 【調布市基本計画—重点プロジェクト3】

F 21世紀の調布の街の骨格をつくる

京王線の地下化に連動した21世紀の調布の街の骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地が形成されています。

F 21世紀の調布の街の骨格をつくる

<重点プロジェクト3 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト>

施策F-① 魅力的な中心市街地の形成

(調布市基本計画 基本的取組 22-1)

◆面的整備手法の活用

土地の有効・高度利用を図り、商業・業務機能や都市型住宅の立地を誘導するなど、生活機能がバランスよく整えられた良好な市街地の形成を図る市街地再開発事業や、宅地の利用増進と公園や道路などの都市基盤施設を整備し、安全で快適な市街地を形成する土地区画整理事業など、面的整備手法を活用した街づくりを進めます。

◆魅力的な駅前広場の整備

交通結節点としての機能の充実を図るとともに、中心市街地デザイン・コンセプト「にぎわい 庭園 ちょうふ」に基づき、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎを生み出す都市空間としての機能を兼ね備えた駅前広場を整備します。

◆鉄道敷地の整備と活用

調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として整備を進めます。

◆歩行者の回遊性の向上

歩いて楽しいまちづくりを進めるため、幹線道路や区画道路等の整備により、安全で快適な歩行者空間ネットワークを形成し、中心市街地の回遊性の向上を図ります。

◆都市景観の創造

中心市街地の中核となる鉄道敷地や駅前広場など、ゆとりとうるおいのある空間を創出し、良好な都市景観の形成に取り組みます。

◆中心市街地活性化の推進

商業・業務の振興と都市基盤の整備が一体となったまちの活性化に向け、市民や来街者のニーズを捉えながら、中心市街地の活性化に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)

中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 27 年度) | 53.1% | 目標値 (平成 31 年度) | 70.0%以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

1. 駅前広場の整備

京王線連続立体交差事業により鉄道が地下化された調布・布田・国領 3 駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させるとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備します。

2. 鉄道敷地の整備

京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組みます。

3. 調布駅周辺における市街地再開発事業の促進

調和の取れた商業・業務・住宅施設の整備を行うとともに、都市計画道路等の公共施設の整備により、駅前拠点にふさわしい土地の有効・高度利用と都市機能の更新を図り、防災性の向上やにぎわいと活気ある市街地を形成します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・住民発意の街づくり

京王線の地下化を契機として、調布の街が大きく変貌する機会を捉え、ソフト・ハードが一体となった魅力あるまちづくりを推進していく必要があります。調布駅南口中央地区や調布銀座地区では、地域の特性を生かした魅力ある中心市街地の形成に向け、住民発意による街づくりの検討が進められています。



◆駅周辺のまちづくり

鉄道駅周辺は、交通利便性ととも、地区住民の日常生活の利便性を高める生活サービス機能が集積し、にぎわいのある地域の特性を生かした地区の中心となる拠点づくりを進めていきます。

つつじヶ丘駅周辺は、神代出張所の代替機能の確保とともに、都市計画道路や自転車等駐車場の整備を含めた総合的な視点からまちづくりを進めます。また、柴崎駅周辺における利便性や安全性の向上など、交通環境の改善を図るため、住民参加によるまちづくりを進めます。西調布駅及び飛田給駅周辺では、引き続き快適な市街地整備に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)

駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 27 年度) | 63.6% | 目標値 (平成 31 年度) | 70.0%以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

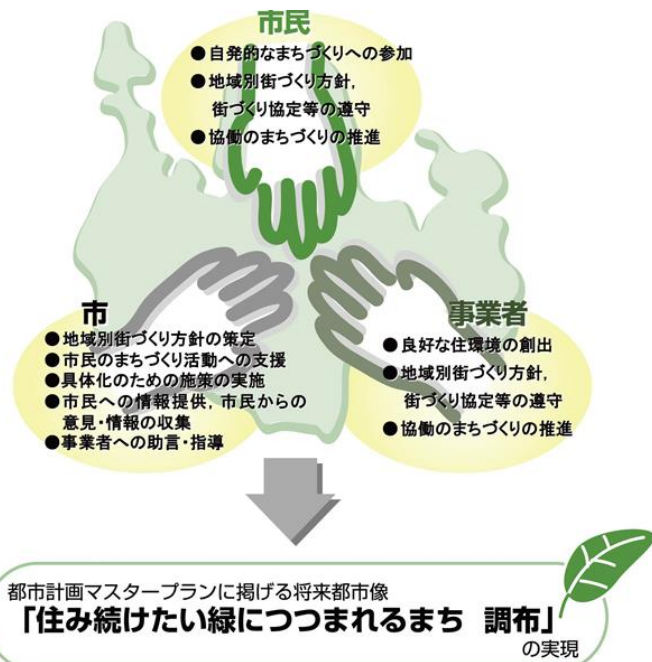
1. 交通環境の改善による駅周辺のまちづくり

駅周辺の安全性を確保するとともに、利便性の向上を図るため、交通環境の改善による駅周辺のまちづくりの取組を推進します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・街づくり活動の支援

調布市では、地域の特性に応じた街づくりを進めるため、「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づく、街づくり活動を支援しています。



＜調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例の基本理念＞

◆都市計画道路の計画的な整備

道路ネットワークを形成し、交通の円滑化を図るため、広域的な視点や地域のまちづくりとの一体性なども考慮し、骨格となる都市計画道路と地区内交通を担う生活道路を一体的に計画し整備を進めるため、「(仮称)調布市道路網計画」の策定に取り組むとともに、都市の骨格となる都市計画道路を計画的に整備していきます。

調布3・4・26号線及び調布3・4・28号線については、京王線の地下化に連動した整備を進めていきます。また、調布3・4・32号線や調布3・4・33号線についても引き続き整備を進め、調布3・4・21号線は基本計画の計画期間内の事業化に取り組めます。その他の優先整備路線である調布3・4・31号線などについては、事業化の検討を進めるとともに、柴崎駅周辺については、利便性、安全性向上のため、住民参加のまちづくりと歩調を合わせ、都市基盤整備の推進を図ります。

◆生活道路等の計画的な整備

安全で快適な暮らしを支える生活空間を確保するため、地域の特性に応じた生活道路の整備を進めるとともに、災害時の避難通路の確保など、防災上の観点から、4m未満の狭あい道路の解消を進めます。

◆中心市街地における道路網の形成

にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間を創出するため、都市計画道路や鉄道と交差する道路等の整備により、中心市街地における道路網を形成し、歩行者にとっても安全で快適に利用することができる道路空間づくりを推進し、駅周辺の回遊性の向上を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

普段利用する市内の道路が安全であると感じている市民の割合

| | | | |
|-----------------|-------|-----------------|---------|
| 基準値 (平成27年度) | 51.8% | 目標値 (平成31年度) | 60.0%以上 |
|-----------------|-------|-----------------|---------|

主な事業

1. 都市計画道路の整備

将来の交通需要に対応した秩序ある道路交通網を形成するため、(仮称)調布市道路網計画の策定に取り組むとともに、都市計画道路の整備を計画的に推進し、交通機能の向上を図ります。

◆交通結節機能の向上

駅前広場の整備により、ユニバーサルデザインに配慮した交通結節機能の強化を図るとともに、バリアフリー化の推進やバス待ち環境の改善など、公共交通の利用環境の向上を図ります。

◆ミニバスの運行

ミニバスを運行し、公共交通不便地域を解消することにより、高齢者等の社会参加の促進を図ります。また、高齢者人口の増加が予想される地域などについては、運行時間の延長や増便など、更なる利便性の向上に向けた検討を進めます。

◆公共交通網の整備による交通環境の向上

今後の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークの検討を進め、だれもが利用しやすい交通環境の向上を目指します。

重要業績評価指標 (KPI)

市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 27 年度) | 74.0% | 目標値 (平成 31 年度) | 80.0%以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

1. 交通計画等の検討

調布市総合交通計画に基づき、今後の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークや公共交通の利用環境の向上に向けた検討を進めます。また、バリアフリー特定事業計画の進行管理を行い、各種バリアフリーの取組を推進します。

◆自転車等駐車場の整備

調布市自転車等対策実施計画に基づき、鉄道敷地などを活用した恒久的な自転車等駐車場の計画的な整備と適切な維持管理を推進するとともに、民間事業者にも設置の働きかけを行います。

◆放置自転車対策の推進

歩行者の安全な通行を妨げ、都市景観の悪化や災害時等の緊急活動を阻害する要因となっている放置自転車の解消に向け、自転車利用のマナー啓発を行うとともに、放置自転車の撤去を進め、駅前広場や駅周辺の歩行空間・交通安全の確保と美観の向上を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

自転車等駐車場の有料化整備率

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 26 年度) | 61.5% | 目標値 (平成 31 年度) | 85.7%以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

1. 自転車等駐車場の整備・有料化

調布市自転車等対策実施計画に基づき、各駅周辺の需要を満たす恒久的な自転車等駐車場の整備・有料化を進めます。

講すべき施策に関する基本的方向 【調布市基本計画—重点プロジェクト3】

G まちの活力を高める

まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりが形成されているとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化を図られています。

G まちの活力を高める

＜重点プロジェクト3 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト＞

施策G-① にぎわいを創出する商店街等の支援 (調布市基本計画 基本的取組 16-1)

◆にぎわいを創出する商業の支援

商店会、事業者、商工会及び調布市が連携・協働し、市民の協力と理解のもと、商店街の活性化を推進します。「食べて飲んでワンコインナイト」、「デカ盛りウォークラリー」、駅前での「マルシェ」などに取り組むほか、商店街のイベントや振興事業を支援するとともに、地域資源を活用した観光施策とも連動させ、市内回遊性の向上を促進します。

◆商店街買物環境等の支援

来街者が快適で安心して買物ができる、商店街づくりを促進するため、街路灯のLED化やアーチの整備など、商店街の買物環境整備を支援します。また、買物が困難な方のために、事業者等との連携による取組を通じ、支援策を検討します。

◆中心市街地活性化の推進

調布市中心市街地活性化プランに基づき、回遊性の向上の取組と連動し、旧甲州街道沿道のまちづくりの推進、映画・映像等の地域資源を活用した活性化、中心市街地の9つの商店会が連携して実施する活性化事業など、商工会・事業者等と連携して活性化を推進します。また、鉄道駅を中心に新たに創出される商業施設等との連携、相乗効果によりソフト・ハード一体となった活性化を促進します。

重要業績評価指標 (KPI)

日常の買物が便利と感じている市民の割合

| | | | |
|-----------------|-------|-----------------|---------|
| 基準値 (平成27年度) | 69.5% | 目標値 (平成31年度) | 80.0%以上 |
|-----------------|-------|-----------------|---------|

主な事業

1. 商店街活性化の推進

買物環境の整備等を支援するとともに、来街者を増やし、にぎわいを創出するため、商店会が実施するイベント事業等を支援します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・商店会CMコンテスト

調布市内の商店会が、城西国際大学メディア学部の学生さんと協力して各商店会のPR映像を創作しています。その中には全国商店街CMコンテストで最優秀賞を受賞するなど高い評価を得たものもあります。



＜商店街CMコンテストの様子＞

◆特色あるお店づくりの支援と市内消費促進による商業活性化支援

市内消費を促進するため、市報やホームページ、地域情報誌などを活用し、市内の特色あるお店のPRとともに、商工会・事業者との連携のもと、より多くの市民が市内での買物を楽しんでもらえるよう、「バイ調布運動（市内消費）」を促進します。

◆オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップを契機とした商業活性化の支援

2019 ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックといった世界的なスポーツイベントを契機として、調布市ならではの、お土産のPRや販売促進の支援とともに、市内事業者による新商品・新製品の開発への支援に取り組みます。また、市内回遊性向上や商業活性化に繋がる各種のイベントを実施します。

◆福祉作業所と連携した特色ある商品開発と販路拡大の支援

市内消費の促進と福祉作業所の受注機会の確保を目指し、福祉作業所と市内事業者、農業者、商店会等が連携して、特色ある商品開発と販路拡大の促進を支援します。また、福祉作業所の商品、製品等のPRや各種イベントへの出展を支援します。

重要業績評価指標（KPI）

市内事業者（小売業）の年間販売額

| | | | |
|-----------------|---------|-----------------|-----------|
| 基準値 (平成23年度) | 1,778億円 | 目標値 (平成31年度) | 2,100億円以上 |
|-----------------|---------|-----------------|-----------|

主な事業

1. 調布市商工会事業の支援

調布市商工会が実施する市内事業者の経営改善普及事業や地域産業の振興事業等を支援します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・2015絆・ぬくもり がんばろう調布セール

調布市商工会では、国の地方創生関連予算における地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支型）を活用したスクラッチカード事業を平成27年11月1日～12月31日の期間で実施します。市内店舗等で500円以上の買い物をすると、500円ごとにスクラッチカード1枚交付（上限あり）して、市内消費の促進を図ります。



◆調布市商工会への支援

市内産業の発展に向けて、商工会の経営改善普及事業や地域総合振興事業をはじめ、商業部会、工業部会、建設業部会、青年部、女性部の部会活動を支援します。また、商工会と連携して市内事業所・事業者を支援します。

◆中小企業・小規模事業者への経営支援

中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定と成長を支援するため、地域金融機関や中小企業診断士などの民間ノウハウを積極的に活用し、経営相談や各種セミナーの開催、商品開発・販路拡大等の支援や課題である事業承継を、商工会と連携して支援します。また、事業経営に必要な資金の融資をあっせんし、融資を受ける際の事業者負担の軽減を図り、経営の安定化を支援します。

◆中小企業・小規模事業者への技術支援

商工会と連携して、市内中小企業・小規模事業者が有する技術を生かした新製品開発の取組を支援します。また、電気通信大学の研究活動や技術などを生かした市内事業所への技術指導や連携などを支援します。

重要業績評価指標 (KPI)

納税法人数

| | | | |
|-------------------|----------|-------------------|----------|
| 基準値 (平成 26 年度) | 5,828 法人 | 目標値 (平成 31 年度) | 5,900 法人 |
|-------------------|----------|-------------------|----------|

主な事業

1. 民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援

事業承継、創業・経営支援、人材育成・人材確保支援、商品開発・販路拡大支援、商店街支援等、民間ノウハウを活用した連携事業の実施など、市内中小企業・小規模事業者を支援します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・中小企業等支援に関する包括協定

調布市では、民間ノウハウを取り入れた中小企業等の振興及び地域経済の活性化を図るため、平成 24 (2012) 年 2 月に多摩信用金庫と、平成 26 (2014) 年 3 月に三井住友銀行、りそな銀行、平成 26 (2014) 年 5 月にみずほ銀行・みずほ信託銀行、平成 27 (2015) 年 9 月に西武信用金庫と「中小企業等支援に関する包括協定」を締結し、相互連携による市内中小企業・小規模事業者へのきめ細かな支援に取り組んでいます。



<平成 24 年 2 月多摩信用金庫との締結の様子>

◆創業に向けた支援

市内での新たな創業を促進するため、産業労働支援センターでは、相談員による創業相談や創業に関するセミナーや講演会の実施など、関係機関とも連携し、創業を目指す市民を支援します。

◆創業者に対する支援

産業労働支援センター内のスモールオフィスで創業を支援するとともに、商店街の空き店舗を活用した創業チャレンジ支援事業を実施します。また、コミュニティ活動を通じ、地域資源を生かしながら地域課題の解決を目指す、コミュニティビジネスの育成・支援を行います。

重要業績評価指標 (KPI)

産業労働支援センターでの創業等相談件数

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 26 年度) | 443 件 | 目標値 (平成 31 年度) | 700 件以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

1. 産業労働支援センターによる新たな創業の支援

産業労働支援センターにおいて、相談員による創業経営相談や創業に関するセミナー・講演会の開催、スモールオフィスの貸出等、創業に関する支援を行います。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・ UECアライアンスセンターにおける産学官の連携の推進

調布市と電気通信大学 (UEC) とは、2003 (平成 15) 年 5 月 20 日に文化、教育、学術の分野で援助、協力する相互友好協力協定を締結し、産学官連携の取組を推進してきました。

電気通信大学は、2018 (平成 29) 年に、礎である「無線電通信講習所」の創設から数えて創立 100 周年を迎え、電気通信大学の発展と地域・社会との連携・共生に役立つ場『UEC Port (Unique & Exciting Campus の港)』として整備します。そこに創設する先端共同研究施設『UECアライアンスセンター』では、産学連携や、大学発ベンチャー、海外も含む学外諸機関との協働など、いろいろな形での連携をここで実施していきます。



＜電気通信大学キャンパスのイメージ＞

◆映画・映像をつくるまちの推進

地域資源を活用したフィルムコミッション事業を推進するとともに、市民・事業者等と連携・協力した調布ジュニア映画塾や子どもたちと映画寺子屋などの支援や、高校生フィルムコンテストの開催、商店会CMの制作など、映画・映像関連企業が集積する特徴を生かし、映画・映像をつくるまちを推進します。また、市内各所のロケ地のカタログ化をはじめ、市民エキストラやロケ弁当の事業者を募集するほか、映画のまち調布ホームページの映画・映像制作会社向けのコンテンツを充実するなど、地域の活性化やロケ支援活動を通じた市民参加にもつなげて参ります。

◆映画・映像を楽しむまちの推進

市民参加の実行委員会で運営する調布映画祭や調布シネサロンなどを開催するとともに、市民・団体等による映画・映像関連イベントの開催を支援します。

◆映画・映像で学ぶまちの推進

映画・映像関連資料の収集・保存・展示をはじめ、映画をテーマとした講座、講演会や平和をテーマにした映画上映会、子ども映画会など、映画・映像を通して学習する機会を提供するほか、映画・映像づくりやワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの取組を進めます。

◆映画・映像関連企業と連携した地域活性化

映画イベントの開催や貴重な映画・映像資料の公開をはじめ、日活映画俳優の手形モニュメントの展示や映画のまち調布を巡るツアーの実施など、映画・映像関連企業と連携した、特色ある地域活性化の取組を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)

| | | | |
|---------------------|-------|-------------------|---------|
| ロケ支援件数 | | | |
| 基準値 (平成 26 年度) | 115 件 | 目標値 (平成 31 年度) | 135 件以上 |
| 映画・映像関連企業と連携した取組の件数 | | | |
| 基準値 (平成 26 年度) | 16 件 | 目標値 (平成 31 年度) | 25 件以上 |

主な事業

1. 「映画のまち調布」推進事業【地方創生先行型交付金（上乗せ交付分）対象事業】

国内外の映画・映像関連企業との連携を図りながら、フィルムコミッション事業、各種映画関連イベントを実施するとともに、映画・映像関連企業の映画・映像に係る取組の情報発信を行い、「映画のまち調布」のPRに取り組めます。

また、映画・映像関連地域資源整理を行うほか、市内の映画・映像関連企業に焦点を当てた映画企画展、映画上映会、映画・映像の制作やワークショップなど、「映画のまち調布」の推進に資する事業を展開します。

・「映画のまち調布」

調布市内には、数多くの映画・映像関連企業が集まっています。

調布市では、映画・映像関連企業と連携して、「高校生フィルムコンテスト in 調布」、市民による実行委員会が企画・運営している「調布映画祭」など、映画に関連するイベントも多く開催しています。

平成 27 (2015) 年 1 月 19 日、京王電鉄株式会社から（仮称）調布駅周辺開発計画について、シネマコンプレックス誘致に関するプレスリリースがなされました。今後、「映画のまち調布」の取組は、市内映画・映像関連企業に加え、シネコン事業者とも連携しながらより一層推進します。



<高校生フィルムコンテスト>

◆古刹・深大寺を核とする魅力の発信

深大寺だるま市や深大寺そばまつり・深大寺夕涼みの会など、古刹・深大寺を核とするイベントや、バラフェスタなど神代植物公園主催の各種イベントの開催を支援するとともに、調布市観光ボランティアガイドを支援し、深大寺地域の魅力を発信します。また、景観に配慮した観光地にふさわしい街なみの形成や深大寺周辺の環境の整備を推進します。

◆芸術・文化等を通じた魅力の発信

グリーンホールや文化会館たづくり、せんがわ劇場で展開している文化・芸術事業のほか、武者小路実篤記念館・実篤公園、郷土博物館などの地域資源を活用し、調布の魅力発信します。

◆スポーツイベント等と連携したにぎわいの創出

2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツイベント等の開催機会を捉えたにぎわい創出や観光振興、観光情報誌の発行等により、調布市の特色あるお土産や特産品など、国内外に調布市の魅力をPRします。また、FC東京をはじめ、調布市にゆかりのあるプロスポーツチーム等と連携した地域活性化事業を展開します。

◆特色ある観光事業の推進

調布市観光協会と連携し、地域資源を活用した観光事業を実施するほか、姉妹都市・木島平村との交流事業や水木キャラクターを活用した活性化事業など、特色ある観光事業を推進します。また、東日本大震災に伴う被災地支援を通じた物販イベント等の交流事業を実施します。

重要業績評価指標 (KPI)

深大寺地域など観光振興に満足している市民の割合

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 27 年度) | 70.2% | 目標値 (平成 31 年度) | 80.0%以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

1. 調布市観光協会事業の促進

市民がまちの魅力に愛着と誇りを持ち、来街者が回遊し、また訪れたいと思われるような観光振興を推進するため、調布市観光協会の活動を支援します。

2. 深大寺周辺無料公衆無線LANによる観光PR事業【地方創生先行型交付金対象事業】

2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を見据え、観光客誘致に繋げる取組として、深大寺、深大寺そば組合、調布市観光協会と連携し、深大寺周辺地域の観光サイトの開設やイベント拡充支援を行います。加えて、多言語対応可能な受入環境として、無料公衆無線LAN(Wi-fi)を整備し、ソフト、ハードと一体化した観光客誘致事業を実施します。

3. 調布の魅力発信拠点「ぬくもりステーション」での観光PR事業

【地方創生先行型交付金対象事業】

調布駅周辺には観光案内所がないため、調布駅前広場内に仮設の観光案内所「ぬくもりステーション」を設置し、調布市内外から訪れる観光客等に、調布の観光情報等を発信します。

観光案内所の運営に当たり、若い世代の雇用機会の創出をするとともに、人材育成などを通じて、地域特性を活かした地域産業を支える人材を確保します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・多摩川流域連携会議

悠久の流れを湛える多摩川に沿って四季折々の自然を共有する多摩川地域の自治体が、そのつながりを生かし、多摩川をテーマとした連携を企画・展開することを目的として、平成25年度から近隣自治体と多摩川流域連携会議を開催し、各市区に共通する行政課題や広域的な課題等について、若手職員を中心に議論をしています。

平成26年度は、各市のイベントをつないだ、多摩川流域自治体イベントラリーを各市で開催し、回遊性の向上に取り組みました。

【構成（9市区）】府中市・日野市・狛江市・多摩市・稲城市・川崎市・大田区・世田谷区・調布市
(平成27年10月31日現在)



<「イベントラリー」の広報>

・近隣市と連携したレンタサイクル×スタンプラリー

調布市では、三鷹市・小金井市と連携したコミュニティサイクル事業として、レンタサイクルとスタンプラリーを組み合わせた「週末は都会の森で遊ぼう!」を平成27年10月から11月まで実施。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国内外の観光客が増加することを見据えて、地域ブランドの形成を図るとともに、新しい回遊観光ルートを検討しています。



<「週末は都会の森で遊ぼう!」>

・京王線沿線観光連絡会

調布市・府中市・日野市・多摩市が京王電鉄株式会社と連携し、広域的な魅力を発信するための共同PR事業に向けた取組や定期的な情報共有をしています。

・その他市内事業者等が主体となったにぎわい創出連携事業

商工会、商店会、市内事業者等が主体となって、駅前広場や京王閣、神社仏閣、商店街等において、マルシェや蚤の市、まちなかウォーキング、デカ盛りウォークラリー、0h!辛チャレンジ、ワンコインナイト、まちゼミなど、市内外の事業者等と連携した、創意工夫による様々なにぎわい創出イベントが展開されています。

◆だれもがスポーツに参加できる機会の充実

それぞれの年齢や体力などに応じ、より多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、市民体育祭やスポーツまつり、市民駅伝競走大会、リフレッシュ健康体操事業等を引き続き実施し、子どもから高齢者まで、各世代のニーズに合わせたスポーツ参加機会の充実を図ります。また、全国障害者スポーツ大会の経験を生かし、今後も障害者スポーツの支援に取り組めます。

◆地域スポーツクラブ等の育成・推進

スポーツ・レクリエーション活動を通じて、地域コミュニティの活性化にもつながるよう、総合型地域スポーツクラブの自主的な活動を支援するとともに、市内の企業や大学などと連携・協力しながら、地域に根差したスポーツ・レクリエーション活動の充実に努めます。

◆地域における子どものスポーツ機会の確保

身近な地域で子どもがスポーツを楽しめる環境づくりを進めるため、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等と連携したスポーツ教室や地域のスポーツ大会の開催など、スポーツ参加の機会の確保を図ります。

◆2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

2020年オリンピックやその前年に開催されるラグビーワールドカップの会場に予定されている味の素スタジアム及びその周辺施設の立地市として、これらの大会に向けて、スポーツ分野をはじめとする様々な取組において、国や東京都の動向を注視し、関係団体などと連携して取り組んでいきます。

重要業績評価指標 (KPI)

運動を週に1回以上行っている市民の割合

| | | | |
|-----------------|-------|-----------------|---------|
| 基準値 (平成27年度) | 60.5% | 目標値 (平成31年度) | 70.0%以上 |
|-----------------|-------|-----------------|---------|

主な事業

1. 調布市体育協会事業の支援

調布市体育協会との相互協力により、市における体育・スポーツを振興、市民の健康増進及び体力向上を図ります。

2. オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

2020年オリンピックやその前年に開催されるラグビーワールドカップの会場に予定されている味の素スタジアム及びその周辺施設の立地市として、これらの大会に向けて、スポーツ分野をはじめとする様々な取組において、国や東京都の動向を注視し、関係団体などと連携して取り組んでいきます。

◆農業経営の支援

認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう支援します。

◆有機栽培の推進

市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質の向上と供給を図るため、有機栽培の推進などの取組を支援します。

重要業績評価指標 (KPI)

認定農業者の人数

| | | | |
|-------------------|------|-------------------|--------|
| 基準値 (平成 26 年度) | 33 人 | 目標値 (平成 31 年度) | 35 人以上 |
|-------------------|------|-------------------|--------|

主な事業

1. 農業経営の支援

認定農業者などの高い経営意欲を持った農業者に対し、農業施設整備への支援を実施し、都市農業の経営力を強化します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

調布市農業まつり

昭和52年より毎年開催している農業まつりは、調布市内の生産者団体である JA マインズ及び都市農政推進協議会等で実行委員会を組織し実施しています。平成26年度も、農家の生産意欲の高揚と生産技術の向上、品質の改良等を目的とした品評会、生産物の直売及びチャリティ即売などを行いました。



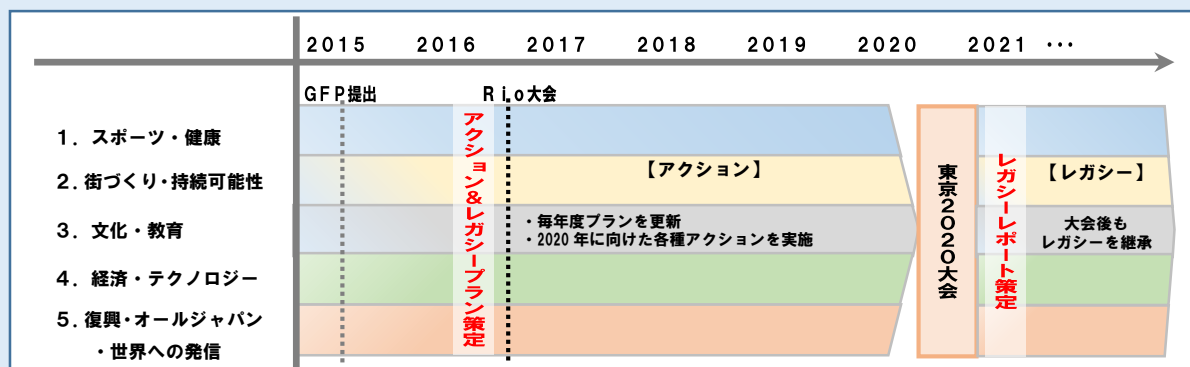
<農業まつりの様子>

講すべき施策に関する基本的方向

H オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

オリンピックを契機として、東京 2020 組織委員会が掲げる「5本の柱」の考え方を踏まえ、調布市基本計画と連動した取組を、国や都、近隣市、関係団体とも連携・協働して推進し、まちの魅力の発信や地域経済の活性化など、市が享受し得るメリットを最大化するとともにオリンピックレガシーを生み出し、まちの発展につなげていきます。

<東京 2020 組織委員会が掲げる「5本の柱」>



出典：東京 2020 大会開催基本計画

H オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

施策H-① オリンピックレガシー創出に向けた取組

◆オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興と健康づくりの推進

2020年東京オリンピック・パラリンピックやその前年に開催されるラグビーワールドカップの会場に予定されている味の素スタジアム（東京スタジアム）及びその周辺施設の立地市として、スポーツ振興などを通じて大会開催の気運醸成を図るとともに、子どもから高齢者、障害者など、全ての人に対するスポーツ参加機会の充実や支援、次代を担うアスリートの育成に関する情報提供に取り組めます。

また、これらの大会を契機として、市民が主体的に取り組む運動や自転車、体操などを通じた健康増進に向けた環境づくりを推進します。

◆オリンピック・パラリンピックを契機とした産業・観光の振興

2020年東京オリンピック・パラリンピックやその前年に開催されるラグビーワールドカップといった世界的なスポーツの大会をまたとない機会と捉え、観光ボランティア等の活用も視野に入れた、市内の回遊性向上や商業活性化につながる各種のイベントを実施します。

◆来街者にとっても魅力的な街づくりの推進

調布市は、水と緑の自然や文化・スポーツ、業務・商業等の拠点を有する、恵まれたまちであり、そうした特性を生かして、来街者にとっても魅力的な街づくりを進めます。

また、ユニバーサルデザインの考え方のもと、歩いて楽しいまちづくりを目指し、来訪者や市民の回遊性を高めるため、外国人を含む利用者の視点に立った分かりやすく親しみやすい公共サインの整備を推進するとともに、計画的な維持管理を推進します。

◆オリンピック・パラリンピックを通じた地域ゆかりの文化の発信と国際交流・平和の推進

だれもがそれぞれに応じた芸術・文化活動ができる場、いきいきとした活動を育むまちとして、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、文化プログラムと連動した取組を推進するとともに、地域ゆかりの文化の発信、国際交流、平和の取組を推進します。

◆オリンピック教育の推進

都の指定による小・中学校のオリンピック推進校などによって、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念等の学習の推進を通じて、国際理解を深めるとともに、児童・生徒の運動やスポーツへの関心や親しみを高めるための、オリンピック・パラリンピック教育を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)

調布市における2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取組に参加したい、または関心がある市民の割合*

| 基準値 (平成27年度) | — | 目標値 (平成31年度) | — |
|-----------------|---|-----------------|---|
|-----------------|---|-----------------|---|

平成28年度調布市民意識調査にて現状値を把握し、平成31年度の目標値を設定します。

主な事業

1. オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進（再掲）

2020年東京オリンピック・パラリンピックやその前年に開催されるラグビーワールドカップの会場に予定されている味の素スタジアム（東京スタジアム）及びその周辺施設の立地市として、これらの大会に向けて、スポーツ分野をはじめとする様々な取組において、国や東京都の動向を注視し、関係団体などと連携して取り組んでいきます。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

オリンピック・パラリンピックに向けた取組

調布市は、2020年オリンピック・パラリンピック大会の会場に予定されている味の素スタジアム（東京スタジアム）及びその周辺施設の立地市として、スタジアム通り等の無電柱、自転車推奨ルートの整備、無料公衆無線LANの整備などのハード面の取組や、スポーツ教室・大会などの近隣市との共同開催や市内小・中学校各校がオリンピックやパラリンピアンなど様々な講師を招聘するオリンピック・パラリンピック教育といったソフト面の取組など、国や東京都、関係団体などと連携した取組を進めています。



＜パラリンピアンによる講演会＞

武蔵野の森公園

【2020 東京オリンピック・パラリンピック】
◆自転車競技（ロードレース）（予定）

（仮称）武蔵野の森総合スポーツ施設
【2020 東京オリンピック・パラリンピック】

◆バドミントン
◆近代五種（フェンシング）



無電柱化

◆スタジアム通り
◆スタジアム周辺

味の素スタジアム（東京スタジアム）

【2020 東京オリンピック・パラリンピック】

◆サッカー（予選）（予定）
◆7人制ラグビー
◆近代五種（水泳・馬術・ランニング・射撃）

【2019 ラグビーワールドカップ】

◆開会式 ◆開幕戦



＜オリンピック・パラリンピックに向けたハード面の取組＞

深大寺周辺における
無料公衆無線LAN（wi-fi）環境の整備

大きく変貌する調布の街

- ◆京王線地下化に運動する21世紀の調布の街の骨格づくり
駅前広場 布田駅（H26年度交通開放）
国領駅（H27年度交通開放予定）
調布駅（H27年度以降段階的整備）
鉄道敷地（H27年度から段階的整備）
- 調布駅南北市街地再開発事業（南口東は、H26年度竣工。北1A、北1Bは、H27年度に施設建築物竣工）
駅周辺の都市計画道路
- ◆東京外かく環状道路の整備（H32年度開通目標）
- ◆同時期に進行する市内大型事業
調布駅周辺の複合商業施設の民間開発（H29年度竣工予定）
電気通信大学100周年キャンパス整備・運営事業（H30年稼働予定）

公共サイン計画の検討・運用

自転車推奨ルート

自転車がより安全に回遊できるよう、国道、都道、区市道等の自転車が走行しやすい空間を連続させ、ネットワーク化

- ◆武蔵境通り～東八道路
- ◆野川サイクリングロード（三鷹市）
- ◆西調布駅から天文台通り
- ◆スタジアム通り

講ずべき施策に関する基本的方向 【調布市基本計画—重点プロジェクト4】

Ⅰ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

調布の大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、うるおいのあるまちが継承されています。

Ⅰ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

<重点プロジェクト4 うるおいのあるまちをつくるプロジェクト>

施策Ⅰ—① 水と緑の保全 (調布市基本計画 基本的取組 27-1)

◆身近な水辺と崖線樹林地・里山の一体的な保全・活用

湧水・河川・田んぼなどの身近な水辺について、雨水浸透ますの設置や崖線樹林地などの管理による地下水・湧水のかん養により、崖線樹林地や里山と一体として保全に努めます。また、武蔵野の貴重な自然資源を市民の憩いの場やふれあいの場として活用しながら、次世代に継承するため、生物多様性にも配慮した水辺や崖線樹林地の維持保全を推進します。

◆緑の保全に向けた制度の活用

緑地の連続性や地域の特性を踏まえ、地域制緑地制度[※]を活用し、民有地等における緑の保全に努めます。

※地域制緑地制度…都市緑地法に基づく「緑地保全地域制度」や「特別緑地保全地区制度」、生産緑地法に基づく「生産緑地制度」など、法令に基づく緑の保全・創出に関する制度の総称

◆公園・緑地等の公有化への対応

市内の公園のうち借地公園については、市民一人当たりの公園面積の目標値や都市計画法などによる位置付け、公園面積、地域的な配置状況等を踏まえ、公園不足地域が生じないように対応していきます。また、市民の環境行動を緑の保全確保につなげる新たな基金の活用により、崖線樹林地や公園の公有化に向け取り組んでいきます。

◆市民による緑の保全の促進

環境学習や市民参加型環境事業を通じて、調布の自然を次代につなぐ人材を育成するとともに、協働による崖線樹林地等の維持保全を促進します。

◆公園施設長寿命化計画の推進

公園の安全で快適な利用環境の維持・向上を図るため、調布市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進む遊具等の公園施設の適切な補修や更新など、予防保全的管理に係る取組を計画的に推進します。

重要業績評価指標 (KPI)

公共が保全する緑の面積[※] ※指標の対象となる緑とは、市や東京都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地に対し市が補助している保全地区。

| | | | |
|-------------------|-----------|-------------------|-------------|
| 基準値 (平成 26 年度) | 146. 63ha | 目標値 (平成 31 年度) | 149. 5ha 以上 |
|-------------------|-----------|-------------------|-------------|

主な事業

1. 公園・緑地，崖線樹林地の保全

市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより協働による公園・緑地，崖線樹林地の維持保全を進めるとともに，地域制緑地制度の活用や公有化による緑の保全に取り組みます。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・市民との協働による崖線樹林地の保全活動

調布市では，市民ボランティア団体（現在5団体）と協働で市内の5箇所の保全活動に取り組んでいます。活動のための用具等の支給や安全講習会を実施しています。

また，平成26年度から平成29年度までの期間で市内の崖線樹林地の概ね10年後の樹林地の在り方を共通認識し，保全活動を行えるように協働で保全管理計画を順次策定しています。



<調布市若葉町の崖線樹林地>

・公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業

調布市では，市民主体の「(一社)調布未来のエネルギー協議会」と協働し，公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の検討を進め，事業者に市の公共施設の屋根等を貸し出し，再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した太陽光発電事業を実施することにより，再生可能エネルギーの普及・促進，停電時の電力確保，収益の一部を緑の保全に活用するなど，市や市域へ還元することを目的とした事業に取り組んでいます。

公募型プロポーザルにより選定した同協議会が母体となって設立した「調布まちなか発電株式会社」と平成25年1月27日に協定を締結し，平成26年度から34施設において順次，発電（売電）を開始しています。



<公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業>

◆公園・緑地等の整備

調布市緑の基本計画に基づき、市民の利用ニーズや公園の充足状況を踏まえながら、多摩川市民広場や鉄道敷地などを活用した新たな公園を計画的に整備します。また、地区計画などの街づくりと一体となった公園の整備を推進します。

調布基地跡地における留保地（国有地）については、国との協議を踏まえ公園の段階的な整備の検討を進めます。

布田崖線に位置する若宮自然広場及び凸凹山児童公園については、隣接地を含め一体的な整備の検討を進めます。

◆緑化活動へつなげる支援・制度の充実

市内に緑を積極的に創出するため、花や緑のまちづくりを行う花いっぱい運動の推進や都市計画道路などにおける緑化の促進、新設した生垣に対する補助など、緑化につながる活動を支援します。

◆水辺環境の整備促進

多摩川、野川、仙川、入間川について、生物生息環境に配慮した安全で快適な河川・川岸の整備及び管理を、管理者である国及び東京都に要望し、水辺環境の整備促進を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

市民1人当たりの公園面積

| | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------|------------------------|
| 基準値 (平成26年度) | 5.75 m ² | 目標値 (平成31年度) | 5.66 m ² 以上 |
|-----------------|---------------------|-----------------|------------------------|

主な事業

1. 公園・緑地等の整備

公園の配置状況や市民の利用ニーズを踏まえ、新たな公遊園の整備や既存の公園・緑地等の再整備を推進します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・花いっぱい運動

地域のグループなどが、市内の公共施設内の空閑地、道路に面する敷地などに、花苗等を植え、又は草花の種をまいて生育し、花を咲かせ、地域の緑を豊かにしています。



<花いっぱい運動の花壇>

◆深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

調布市の貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の里山・水辺環境については、市民との協働のもと、雑木林の保全や田園風景の保全などを推進するとともに、都市農地の維持・保全に向け、地権者との合意形成を図りながら、良好な地域環境の維持・保全・活用に向けた取組を進めます。

重要業績評価指標 (KPI)

区域での環境学習等の延べ参加人数

| | | | |
|-------------------|---------|-------------------|---|
| 基準値 (平成 26 年度) | 7,529 人 | 目標値 (平成 31 年度) | 37,500 人 (5 か年累計) (平成 27 (2015) ~ 31 (2019) 年度) |
|-------------------|---------|-------------------|---|

主な事業

1. 深大寺・佐須地域の里山，水辺環境の保全・活用

深大寺・佐須地域の豊かな環境を調布の貴重な財産として、次世代に引き継いでいくために、平成 26 (2014) 年 3 月に策定した調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に基づき、事業の検討・推進を図ります。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・深大寺・佐須の里山，水辺環境の保全・活用

深大寺・佐須地域は、ハケと呼ばれる国分寺崖線を挟む 2 つの段丘（武蔵野段丘，立川段丘）にあり、ハケ下からの湧水が水路（小川）となって、多摩川の支流である野川に合流しています。

崖線に沿って続く雑木林，南北に形成された谷戸を活用した都立農業高校神代農場や深大寺自然広場，水路周辺に広がる田畑など，良好な自然環境及び里山の景観が維持されています。

深大寺自然広場内の雑木林は，通称カニ山とも呼ばれ，まとまった樹林が残り，良好な状態で自然環境が保たれています。近年，環境保全意識の高まりから自然環境や生態系の保全に対する市民活動が活発であり，深大寺自然広場でも保全活動が行われています。



<調布市深大寺・佐須地区の風景>

講ずべき施策に関する基本的方向 【調布市基本計画—重点プロジェクト4】

J 良好な景観を創出する

地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組が進められています。

J 良好な景観を創出する

<重点プロジェクト4 うるおいのあるまちをつくるプロジェクト>

施策J-① 景観まちづくりの推進 (調布市基本計画 基本的取組 21-2)

◆調布の自然・地域の個性を生かした景観価値の向上

景観の骨格となっている国分寺崖線や多摩川・野川などの豊かな自然環境と、駅周辺などのにぎわいのある都市空間、落ち着いた風情を感じる街並み、のどかな農の風景など、地域固有の景観の魅力を市民と共有し、景観価値の向上に取り組めます。

◆街並み・景観保全に向けた規制・誘導

景観行政団体として、景観計画や景観条例などの景観法の制度を活用した景観まちづくりを推進します。また、景観まちづくりを担う各種施策との連携を図りながら、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりに向け、景観のルールづくりを進めます。

◆地域における景観意識の醸成

地域住民との協働による良好な景観まちづくりに向け、景観に関する市民活動への支援や、景観学習などの推進により、景観まちづくりの担い手となる人材を育成し、地域での様々な活動を通じて景観に関する意識の醸成を図ります。

◆公共サイン計画の検討・運用

ユニバーサルデザインの考え方のもと、歩いて楽しいまちづくりを目指し、来訪者や市民の回遊性を高めるため、外国人を含む利用者の視点に立った分かりやすく親しみやすい公共サインの整備を推進するとともに、計画的な維持管理を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)

市内に優れた景観があると感じている市民の割合

基準値
(平成 27 年度)

89.8%

目標値
(平成 31 年度)

90.0%

主な事業

1. 景観計画・景観条例の運用

景観行政団体への移行により、景観計画や景観条例などの景観法の制度を活用した景観まちづくりを推進します。

2. 公共サイン計画の検討・運用

公共サイン整備方針に基づき、多言語対応も含め、だれにもわかりやすい公共サイン整備を推進します。

◆深大寺地区におけるまちづくり

古刹として知られる深大寺やそば店などが建ち並ぶ調布市の代表的な観光地である深大寺地区の趣を守りつつ、国分寺崖線のまとまった緑の保全と良好な住環境を維持するため、景観法や都市計画法などの諸制度を活用した規制・誘導を図るとともに、深大寺地区にふさわしいまちづくりを推進します。

◆街なみ景観の保全

深大寺地区周辺の街なみ景観の維持，向上を図るため，地域と連携を図りながら，地区住民による街づくり協定の円滑な運用を支援し，調布市深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき，武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくりに向け，街なみ環境整備事業を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)

深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合

| | | | |
|-------------------|-------|-------------------|---------|
| 基準値 (平成 27 年度) | 87.2% | 目標値 (平成 31 年度) | 90.0%以上 |
|-------------------|-------|-------------------|---------|

主な事業

1. 深大寺地区におけるまちづくりの推進

深大寺地区の緑の保全策や都市計画道路（調布 3・4・30 号線）の在り方等について検討を進めるとともに，調布市深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき，歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど，魅力向上に取り組みます。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

・深大寺通り周辺地区街づくり協定

調布市の代表的な観光地である深大寺地区においては，街なみ景観の維持，向上を図るため，地区住民による街づくり活動が行われています。

街づくり条例に基づく「深大寺通り街づくり協議会」は，平成 21 年 5 月に「深大寺通り地区街づくり提案書」を市長へ提出を行っています。

調布市では，「自然環境の保全と賑わいの創出」という地区の課題について取り組むため，平成 24 年 7 月に深大寺地区を街づくり条例に基づく「街づくり推進地区」に指定するとともに，地区の街なみ景観を保全するための自主的なルールとして締結し，運用している「深大寺通り周辺地区街づくり協定」を認定しました。

また，平成 24 年 11 月に「深大寺地区街なみ整備基本計画」を 12 年計画として策定し，「遊歩道・散策路整備」，「道路の美装化・改良」，「電柱類改善整備」，「案内板等サイン整備」等の街なみ環境整備事業を深大寺通り街づくり協議会と協働し，事業を進めています。



<街づくり協議会の様子>